

「もっと強く！」エジプトチームの挑戦

～競技かるた世界大会にエジプトチームが初出場！～

カイロかるた会

2025年11月9日、滋賀県の近江神宮にて「第3回おおつ光ルくん杯競技かるた世界大会」が開催されました。近江神宮は百人一首の第1首を詠んだ天智天皇が祀られていることから、名人・クイーン戦をはじめ、競技かるたのタイトル戦が多く行われている「かるたの聖地」です。コロナ禍を経て6年ぶりの開催となった今大会には、日本をはじめ、アメリカ、タイ、コロンビアなど10の国・地域から12チームが集まり、3人1組による国別団体戦で熱戦が繰り広げられました。

エジプトでは昨年「カイロかるた会」が発足し、今年7月にはカイロでアフリカ大陸初となる競技かるた大会が開催されました。その大会で優勝し、初段に昇段したアスマーさんを中心に、カイロかるた会副会長のアラーさん、ダイナミックな取りで成長著しいメンナさんの3名がエジプトチームを結成し、監督を務めたカイロかるた会の山岡洋輔会長とともに、初めての世界大会に挑みました。

エジプトチームはグループリーグでチャイニーズ・タイペイ、中国、韓国という東アジアの3チームと対戦しました。第1戦のチャイニーズ・タイペイ戦では主将同士の対戦でアスマーさんが勝利し、歴史的な1勝を挙げましたが、チームとしては1勝2敗で敗れました。続く中国、韓国戦では有段者揃いの強豪に歯が立たず、いずれも0勝3敗で落とし、エジプトチームにとって初めてとなる世界大会は3戦全敗、グループ最下位という厳しい結果となりました。

世界の壁の高さを痛感する大会となりましたが、翌日の個人戦では、アスマーさんが前日の悔しさを払拭するような素晴らしい取りで初段の選手が出場できる「竹の部」で準優勝を果たしました。アスマーさんは「自分をもっと強くなってチームを勝たせるような存在になりたい」と話していました。

エジプトにおける競技かるたはまだ始まったばかりなので、今大会の挑戦は大きな一歩となりました。今後、個々に成長し、エジプトチームとしての1勝を目指して、練習に励んでいきます。

なお、個人戦は海外在住の日本人も出場可能で、松の部（弐段以上）では、カイロかるた会の指導者である山岡洋輔 参段が三位に入賞しています。



大津市のマスコットおおつ光ルくんを囲んで



会場は「競技かるたの聖地」近江神宮



エジプトチームとして出場した3選手



初戦のチャイニーズ・タイペイ戦



個人戦では2人（会長含む）が入賞